

【様式1】産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理実績報告

※枚数が不足する場合
(紙の場合)コピーして使用してください。(Excelの場合)行を挿入してください

記入例

令和5年度の産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の処理実績について、次のとおり報告します。

報告者 (会社名等)	〇〇株式会社	電話番号	0776-00-0000	記入 担当者	〇〇〇〇〇
---------------	--------	------	--------------	-----------	-------

「1次処理」欄には、報告者がR5年度中に処分した総処分実績を記入してください。
【注】報告者が中間処理と最終処分(再生)の両方を行った場合には、中間処理を「1次処理」欄に、最終処分(再生)を「2次処理」欄に記入してください。
(報告者が最終処分または再生のみを行った場合は、「1次処理」欄のみ)

「2次処理」欄は、中間処理産業廃棄物の処理実績について記入してください。(⑦が中間処理の場合のみ)

1次処理							2次処理(⑦が中間処理の場合)								
① 産業廃棄物 コード (自動入力)	② 産業廃棄物 の種類	③ 排出事業者 の区分	④ 排出事業場 所在地	⑤ 排出事業場 所在地	⑥ 処分量 (単位:トン)	⑦ 処分方法 の分類	⑧ 処分方法 コード	⑨ 処分方法	⑩ 中間処理 産業廃棄物の量	⑪ 中間処理 産業廃棄物 処理委託先	⑫ 中間処理 産業廃棄物の 処理委託先 所在地コード (自動入力)	⑬ 中間処理 産業廃棄物 処分	⑭ 中間処理	⑮ 中間処理 産業廃棄物 処分方法 コード (自動入力)	⑯ 中間処理 産業廃棄物 の処分方法
0600	廃プラスチック類	事業者	18	福井県	100	中間処理	204	焼却	10	委託処理	17	石川県	最終処分	303	管理型埋立

(備考) 〇〇〇〇...

補足事項等があれば、適宜、

830 m³ × 0.55 (木くずの重量換算係数)
= 457トン (小数点以下は四捨五入)

委託を受けて処分した量(令和5年度実績)を、単位:トンで記入してください。(小数点以下は四捨五入)
単位の換算が必要な場合は、別紙「各コード一覧」に記載の「換算係数(t/m³)」を参考に、換算した上で記入してください。

「再生」、「中間処理」、「最終処分」のいずれかを記入してください。
【注】⑨の処分により廃棄物を卒業し、売却等したものについては、⑦は「再生」としてください。

⑨の処理後の産業廃棄物の量(令和5年度実績)を、単位:トンで記入してください。(小数点以下は四捨五入)
単位の換算が必要な場合は、別紙「各コード一覧」に記載の「換算係数(t/m³)」を参考に、換算した上で記入してください。

「再生」、「中間処理」、「最終処分」のいずれかを記入してください。
【注1】⑯の処分により廃棄物を卒業し、売却等されるものについては、⑭は「再生」としてください。
【注2】処分事業場で数次の処分が行われる場合は、その最終的な処分方法の分類を記入してください。

別紙「各コード一覧」の「処分方法」から記入してください。
【注】処分事業場で数次の処分が行われる場合は、その最終的な処分方法を記入してください。

記入例① 県内の建設業者から排出された木くず830m³(立米)を焼却処理し、焼却後の燃え殻46トンを、石川県の管理型埋立許可業者を委託した場合

0800	木くず	事業者	18	福井県	457	中間処理	204	焼却	46	委託処理	17	石川県	最終処分	303	管理型埋立
------	-----	-----	----	-----	-----	------	-----	----	----	------	----	-----	------	-----	-------

記入例② 県内の製造業者から排出された廃プラスチック類200トンを破砕し、県内の産業廃棄物処分業者に圧縮・固化を委託し、固形燃料化した場合

0600	廃プラスチック類	事業者	18	福井県	200	中間処理	207	破砕	200	委託処理	18	福井県	再生	104	燃料化
------	----------	-----	----	-----	-----	------	-----	----	-----	------	----	-----	----	-----	-----

記入例③ 県内の建設業者から排出されたがれき類4,000トンを破砕し、再生砕石(RC-40)として売却した場合

1500	がれき類(工作物の新築、改築又は撤去に伴って生じた不要物)	事業者	18	福井県	4,000	再生	106	その他再生							
------	-------------------------------	-----	----	-----	-------	----	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

記入例④ 富山県の建設現場で発生したのがれき類150トン(重量の0.1%を超える石綿を含有)を、安定型最終処分場に埋立てた場合

2440	【石綿含有】がれき類	事業者	16	富山県	150	最終処分	302	安定型埋立							
------	------------	-----	----	-----	-----	------	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

記入例⑤ 滋賀県の産業廃棄物処分業者が中間処理(脱水)した、基準値を超える有害物質を含む汚泥3,000トンをセメント原料として使用した場合

報告者 (会社名等)	〇〇株式会社	電話番号	0776-00-0000	記入 担当者	〇〇〇〇〇〇
---------------	--------	------	--------------	-----------	--------

「1次処理」欄には、報告者がR5年度中に処分した総処分実績を記入してください。
 【注】報告者が中間処理と最終処分(再生)の両方を行った場合には、中間処理を「1次処理」欄に、
 最終処分(再生)を「2次処理」欄に記入してください。
 (報告者が最終処分または再生のみを行った場合は、「1次処理」欄のみ)

「2次処理」欄は、中間処理産業廃棄物の処理実績について記入してください。(⑦が中間処理の場合のみ)

1次処理									2次処理(⑦が中間処理の場合)						
① 産業廃棄物 コード (自動入力)	② 産業廃棄物 の種類	③ 排出事業者 の名称	④ 排出事業場 所在地	⑤ 排出事業場 所在地	⑥ 処分量 (単位:kg)	⑦ 処分方法 の分類	⑧ 処分方法 コード	⑨ 処分方法	⑩ 中間処理 産業廃棄物の量	⑪ 中間処理 産業廃棄物 の処分方法	⑫ 中間処理 産業廃棄物の 処理委託先 所在地コード (自動入力)	⑬ 中間処理 産業廃棄物を処分 事業場が所在する都道府県	⑭ 中間処理 産業廃棄物を処分 事業場が所在する都道府県	⑮ 中間処理 産業廃棄物 処分方法 コード (自動入力)	⑯ 中間処理 産業廃棄物 の処分方法
7426	汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)	中間処理業者	25	滋賀県	3,000	再生	103	原材料化							

別紙「各コード一覧」の「廃棄物」

本社の住所ではなく、排出事業場が所在する都道府県を記入してください。
 また、所在地が「福井県」以外である場合は、【様式2】に排出事業場ごとの
 内訳を記載してください。

別紙「各コード一覧」の「処分方法」から記入してください。

「自社処理」、「委託処理」の区分
 いずれかを記入してください。

中間処理産業廃棄物を処分
 事業場が所在する都道府県

(自動入力)